

今週の話題

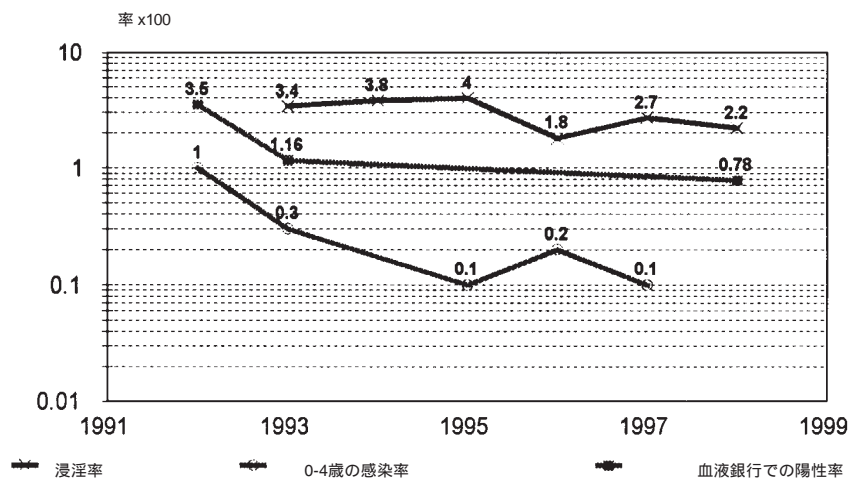
<トルコ地震での健康への影響>

トルコ地震後 10 日目で 1 万 2 千人が死亡し、20 万人が家屋を失い、5 千 km² で基本施設が崩壊した状態では、水と衛生管理の再構築が重要である。WHO の記録では、これまでの 20 年間の自然災害では、伝染病の大流行は認められていない。しかし、WHO は保健省と共に基本的な保健事業の再構築を図る予定である。また、伝染病に対する監視機関の設立を勧めている。

<ベネズエラにおけるシャーガス病、1999 年>

ラテンアメリカの人口の約 25% が、シャーガス病（アメリカトリパノソーマ症）の危険に曝されている。1970-80 年代にかけて、サシガメにより媒介される農村での古典的な伝染パターンから、都市での輸血による感染へと変化した。そのため 1977 年から血液ドナーのスクリーニングが開始され、近年、100% で実施されている。ドナー血は 3% から 53% の高頻度で *Trypanosoma cruzi* が陽性であるが、今後、輸血感染の可能性は 0 となり、死亡率の低下が期待されている。また、家屋の構造の改善と殺虫剤の使用によるサシガメの侵淫率は 0.1% から 0.6% と低下している。

図 1 ベネズエラにおけるシャーガス病の感染率の変化 1992年 -1998年



ベネズエラにおけるシャーガス病の感染率の変化、1992年-1998年

侵淫率、0-4 歳児の感染率、血液銀行での陽性率、いずれも減少してきている。

<ウズベキスタンの包虫症>

寄生蠕虫症である *Echinococcus granulosus* の幼虫は肝肺その他臓器への進展による慢性蠕虫症疾患をおこす。人畜共通感染症であり、牛 39.5%、羊山羊 54.6%、豚 221.1% と感染率が高い。人の罹患率も 10 年で 3 倍に増加している。間接赤血球凝集反応 (1:320) による疫学調査の陽性率は 1.3% である。医師、獣医師、地域自治体を含んだ人・家畜間での感染コントロールと予防を行うための機構が必要である。また、何よりも住民の認識を高めることが重要である。

表 2000年におけるウズベキスタンの包虫症罹患率

地域	犬 (匹数)	相関度 (%)	犬/人口 比率	推定数		
				陽性数	患者数	
				(%)		
Andijan	225669	74.7	1:8.0	12860	0.7	960
Bukhara – Boukhara	137912	69.1	1:8.6	8000	0.6	600
Fergana	252 503	69.1	1:8.6	16 450	0.7	1 230
Jizak	94003	70.3	1:8.5	3 370	0.4	250
Kara – Kalpak A. R. – R. a. de Kalpak	93474	51.0	1:11.7	8 800	0.8	660
Kashkadarya	202087	75.2	1:7.9	17100	1.1	1 280
Khorezm	118358	64.7	1:9.2	9 850	0.9	740
Namangan	234 978	89.3	1:6.7	15 800	1.0	1 180
Navoi	75 033	59.7	1:10.0	6 200	0.8	460
Samarkand	288956	78.4	1:7.6	17000	0.8	1 270
Sirdarya	61173	60.2	1:9.9	670	0.1	56
Surkhandarya	137028	68.1	1:8.8	4 950	0.4	370
Tashkent	885 046	88.4	1:6.7	46 250	0.8	3 470
総数	2 806220	75.9	1:7.9	167300	0.7	12520

< アフリカのトリパノソーマ症のコントロールと監視 >

サブサハラアフリカの国境地帯での疾患のコントロールは、多くの障害に直面しており、それは、手段が減少したことにある。本レポートでは、治療、サーベイランス、コントロールの有効な手段について検討されている。

流行ニュースの続報

インフルエンザ

1999年 8月に、アルゼンチン、オーストラリア、フィンランドにおいて報告された。詳細は、WER参照。

流行ニュース

ユーゴスラビアにおける腎症候性出血熱

19歳女性がコソボで報告された。

アフガニスタンにおけるポリオ

急性弛緩性麻痺 (AFP)の 26例が北アフガニスタンの Kunduz県で報告された。1997年中頃まで続いた紛争による予防接種活動の中断が流行を促進させた可能性がある。流行のコントロールとして、県内の 5歳以下の子ども 13万人への経口ポリオ接種キャンペーンが 8月 7日に始まった。

(辰巳 安紀子、内山 三郎、片岡 陳正)